



田端 文音さん(1998年生まれ)

鈴鹿高校 出身

四日市大学 総合政策学部卒業

四日市市役所

四日市市諒訪町1-5

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp/>



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→公務員対策講座を受講→公務員試験に合格し、市役所に入所→文化振興課に配属

「地域からさまざまな学びを得られるのが総合政策学部。地域に飛び出しても、地域の祭りに学生ボランティアとして参加したり、地域の方との交流を通してコミュニティの大切さを考える機会など、地域での経験値を高めてくれます。在学中に、社会調査士の資格を取得することができました」

——仕事について
「公務員が明確な目標になつたのは、在学中に四日市市総合計画の策定委員会に参加したことがあつかけです。長いスパンで四日市のビジョンを考えるような仕事を就きたいと思うようになりました」

「地域住民の方が暮らしがちづくり」をサポートすることが市

——やりがい
「市民の方に對して市役所職員が講義をおこなう出前講座の事業を進めているのですが、自分が担当しているプロジェクトがカタチになってきたときはやりがいを感じます。入所して2ヶ月目で、まだ業務に取り組むだけで精一杯。今後は、同じ部署の先輩たちのように、的確な判断力と視野の広さをもつて市民の役に立つていきたいです」



18歳 公務員対策が充実していると聞き、四日市大学に進学。

22歳 フィールドワークからコミュニティの大切さなどを学ぶ。

23歳 四日市市役所に入所。市民の暮らしやすいまちづくりをサポートする。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



市民の方が文化にふれるきっかけになるイベントを中立な立場でサポートする。

— 学生時代 —

「文化祭でダンスを披露したり、学校行事には毎回熱心に取り組んでいました。高校生のときにしかできないことに全力で取り組んでいた感じです。高校卒業後は、四日市大学に進学しました。漠然ですが公務員に興味があったので、1年次から先生方のきめ細かいサポートや充実した公務員対策講座を受けられると聞いたのが進学先を選んだきっかけです」

大学で学んだことは?

「地域からさまざまな学びを得られるのが総合政策学部。地域に飛び出しても、地域の祭りに学生ボランティアとして参加したり、地域の方との交流を通してコミュニティの大切さを考える機会など、地域での経験値を高めてくれます。在学中に、社会調査士の資格を取得することができました」

——やりがい
「市民の方に對して市役所職員が講義をおこなう出前講座の事業を進めているのですが、自分が担当しているプロジェクトがカタチになってきたときはやりがいを感じます。入所して2ヶ月目で、まだ業務に取り組むだけで精一杯。今後は、同じ部署の先輩たちのように、的確な判断力と視野の広さをもつて市民の役に立つていきたいです」



— メッセージ —

「私は四日市大学の公務員対策講座を受講してよかったです。1次試験対策では、数的推理、現文などのペーパー試験対策を重視的に。2次試験と最終試験対策として、直接や小論文もしっかりと指導してもらいました。ひとりの先生が個別に直前まで対応してくれたので、万全の体制で試験に臨むことができました。高校時代は、今しかけていないことをとええば文化祭などの行事には積極的に取り組んでいました。その経験が自信につながります。」

下地 真央さん(1994年生まれ)
四日市高校 出身
皇學館大学 教育学部卒業

いなべ市立山郷小学校
いなべ市北勢町大辻新田276
<https://www.city.inabe.mie.jp/>

なるためには

●必要資格 / 小学校教諭免許
●主な進路 / 高校卒業→教育学部ほか教職課程のある大学に進学→小学校教諭免許を取得→教員採用試験に合格→小学校に配属

「小学生のときから、『学校の先生ってかっこいいなあ』と憧れをもっていました。それが具体的な目標になりましたのは、高校の先生の後押しがきっかけ。それまでの先生が大好きなくらいで、自分も先生になつて生徒とふれあいたいと思うようになりました。高校卒業後は、皇學館大学教育学部に進学し、各教科の教材研究の仕方、生徒に教える前に自分で内容をどう解釈するかなどを勉強しました。学生相手に模擬授業をおこない、先生にアドバイスをもらつて指導の仕方も学びました」

大学で学んでよかつたことは?

「中学高校までは、子どもとふれあう機会がなかったので、部活やボランティアを通じ、目線の合わせ方や言葉づかい、声のトーンなど、子どもとの接し方を学べたことが大きかったです。3年次の教育実習では、実習先の先生が工夫をして生徒が楽しく授業に参加している風景を目の当たりにしました。私も実際に生徒相手に授業をおこない、授業の組み立て方や教材の準備などを実践的に学ぶことができました。教科書にクッキーが出てくる問題があつたら黒板に貼れるクッキーの絵を用意したり、ちゃんと準備をした授業は生徒の反応が全然違うことも実感しました」

ー仕事についてー

「山郷小学校で1年生の担任をしていました。社会に出たときに学校での経験が役立つよう、日々の授業やさ

「日々の小さな成長を感じることもできますし、1年を通しての大きな成長を感じることもあります。最初は、一つひとつていねいに教えてくれます。でも、『これはもう言わなくていいかな』と手を離していく瞬間があるんです。それが成長を感じられる瞬間ですね。3月くらいに生徒を見ると、1年間頑張ってきてよかったとやりがいを感じます」

心がけていることは?

「信頼関係を築くため、生徒の名前を呼ぶこと。ただ『すごいね』って言うのではなく、『○○さんすごいね』と褒める。自己肯定感をもてるよう

に、生徒のいいところをちゃんと見つけて、それを保護者にも伝えることを意識しています」

「日々の小さな成長を感じることもできますし、1年を通しての大きな成長を感じることもあります。最初は、一つひとつていねいに教えてくれます。でも、『これはもう言わなくていいかな』と手を離していく瞬間があるんです。それが成長を感じられる瞬間ですね。3月くらいに生徒を見ると、1年間頑張ってきてよかったとやりがいを感じます」



18歳

22歳

27歳

高校の先生の後押しがきっかけで、教員が具体的な目標に。

皇學館大学に進学し、指導方法や教材の研究について学ぶ。

日々の小さな成長や、1年を通しての大きな成長にやりがいを感じる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



日々の授業や行事から、助け合うことの大切さを学んでほしい。

ー学生時代ー

ーメッセージー

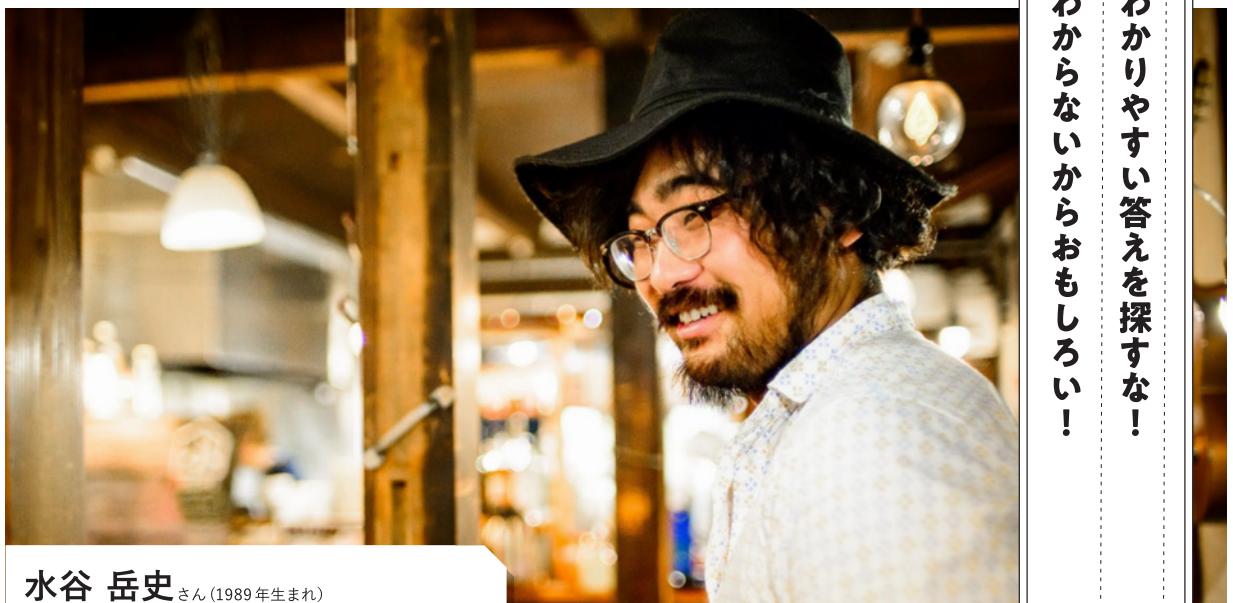
「小学生のときから、『学校の先生つ

てかっこいいなあ』と憧れをもつていました。それが具体的な目標になつたのは、高校の先生の後押しがきっかけ。それまでの先生が大好きなくらいで、自分も先生になつて生徒とふれあいたいと思うよう



なりました。高校卒業後は、皇學館大学に進学し、各教科の教材研究の仕方、生徒に教える前に自分で内容をどう解釈するかなどを勉強しました。学生相手に模擬授業をおこない、先生にアドバイスをもらつて指導の仕方も学びました」

「小学生教諭免許を取得し、教員採用試験に合格する必要があります。皇學館大学が実施する対策講座で学んだ小論文対策や面接対策一般教養と教職教養は、試験へ臨む際にとても役に立ちました。小学校教諭をめざすのであれば、受講することをおすすめします。高校時代は、まだ将来の夢をもつことが大事。それが現れますよ。先生や両親は、私がめざす道に進めるよう支えてくれました。とても恵まれた環境だったと感謝しています」



水谷 岳史 さん(1989年生まれ)

四日市工業高校 出身

株式会社On-Co

桑名市西別所1375

<https://www.facebook.com/OnCo222>

なるためには

- 必要資格 / 普通自動車免許
- 主な進路 / 在学中から地域活性やNPOなどの活動に参画→高校卒業→飲食店店長→NPO事務局→庭師→株式会社設立

「仕事を簡単な形で教えてください」
「仕事内容を簡単に教えてください」
「仕事内容を聞かれるといつも困ります」

「結果的にこうなりました(笑)。以前、名古屋駅から徒歩圏内にあつたボロボロの空き家をDIYでシェアハウスやアトリエにして住んでいたのですが、次第に多様な人たちが集まり、そこに文化が生まれたんです。それが空間のハードとソフトのデザインを考えるきっかけとなりました。また東京から三重県尾鷲市に事業参入していた先輩経営者から『田舎も楽しいぞ』と教えてもらいました。これが空間のハードとソフトのデザインを考えるきっかけとなりました」

「アルバイト先のラーメン屋にて、店長補佐として飲食店経営に携わりました。また、家業が造園業を営んでおり、父から庭師として植木の剪定からエクステリア・デザイン・施工を学びました。その流れで建築にも興味をもちました」

「いまの仕事を始めた経緯は?」「結果的にこうなりました(笑)。以前、名古屋駅から徒歩圏内にあつたボロボロの空き家をDIYでシェアハウスやアトリエにして住んでいたのですが、次第に多様な人たちが集まり、そこに文化が生まれたんです。それが空間のハードとソフトのデザインを考えるきっかけとなりました。また東京から三重県尾鷲市に事業参入していた先輩経営者から『田舎も楽しいぞ』と教えてもらいました」

わからぬいからおもしろい!
わかりやすい答えを探すな!

「幼少期から父に『男は稼いでからが一人前』と教えられた影響で、学生時代は『早く稼ぎたい!』とにかくモテたい!」と思つていました。高校時代に、学生にビジネス経験を積ませることを目的とした商店街活性化プロジェクトに参画。街のために尽力する大人を初めて見てかっこいいと憧れをもちました。同時に音楽イベント企画を手がけ、時給ではない仕事の仕方を学びました

「——仕事について
『アルバイト先のラーメン屋にて、店長補佐として飲食店経営に携わりました。また、家業が造園業を営んでおり、父から庭師として植木の剪定からエクステリア・デザイン・施工を学びました。その流れで建築にも興味をもちました』



「子どものころ、『将来の夢は?』『何がやりたいの?』とよく聞かれていて、大人になるまでに決めなきやいけないのかと思つていたのですが、違いました。毎日やりたいことは変わらし、置かれている環境も変わります。だから将来について考えるなんて面白くないことは諦めて、たくさん友達を作つてたくさん遊びましょう」

「ありがとうございました。」



8歳

父にプレイステーションをねだったら、ほしいなら自分で創れと言われた。

↓

15歳

地域活性プロジェクトに関わり、街のために尽力する大人に刺激を受ける。

↓

31歳

さかさま不動産のクラウドファンディングを達成し、行政・メディア・異業種の方との連携しながら活動中!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

自分の世界感をクッキーで魅せる!
信じた道を実直に。



栗田 こずえさん(1983年生まれ)

四日市西高校 出身
愛知淑徳大学 文化創造学部卒業

kurimaro collection

桑名市北鍋屋町84-1
<https://cookie-kurimaro.com/>

なるためには

- 必要資格 / 普通自動車免許
- 主な進路 / 大学卒業→モノづくりに関わる職に就く→モノづくりへの小さな成功体験を積む→造形(型作り)と菓子製造に携わる→0から1を生み出す訓練をする一起業

「子どものころから、いきものが好きでいろいろな生きものを飼っていました。生物の先生とも仲がよく、高校時代は生物室に入り浸っていました。先生は巣から落ちてしまつたスズメのヒナを保護したり、淡水域に棲息する縁藻やワニの歯の話を聞かせてくれたことも思い出しています。また、いまはあまり見かけなくなったカブトエビやホウネンエビなどを捕獲してはいました。大学時代は先生に届けていました。大学時代は目的もなくボヤつと毎日を過ごしていましたが、アルバイト先だったラーメン屋が厳しく、段取りや目の前の仕事に真剣に取り組む姿勢を教わりました。自分の至らないところもはつきりと言つてもらい、成長につながったと思います」

——仕事について

「動物と触れ合うための施設『ムツゴロウ王国』に就職したいと憧れる時期がありました。閉園したといふ現実を知つてから、『どうやつたら自分なりにいきものの魅力を伝えられるかな』と考えるようになります。平面のもので造形で捉えられることは強みだと気づき、友人が飼っている動物をモチーフに小物などを創つてプレゼントしたりしていました。その中で一番よろこばれたのが動物クッキーです。そこで菓子製造の許可を取得するまでは、クッキー型を販売。2016年にいきものの魅力を表現するクッキー専門店として起業しました」

——やりがい

「うちの子がいた!」と動物好きなお客様がよろこんでくれること。「大切な人のために」と一生懸命選ぶ姿。友達からもらつてうれし

「個性をお菓子なカタチに」をコンセプトに、生きものの豊かな個性や魅力を表現した卵不使用の『生きものクッキー専門店kurimaro collection』を営んでいます。種類は350種以上。大切にしていることは、飼い主や専門家と『コミュニケーション』をとり、教えていただきながら特徴や魅力をクッキーに落とし込む姿勢です。クッキーが、いろんな業種の人たちとのつながりを築いたり、珍しい動物を知つたり、出会いのきっかけになれたらいなと思つています」

「生き出すクッキーたちに対しても日々の製造のなかでも思わず『可愛い!』と口にしています。スタッフたちも同様です。心から思つていないと可愛くならない。お客様にも大事に扱つてほしいので、この『わくわく感』は常に忘れないようにしています」

「まずは信じている道筋を言葉にすることで、自分への覚悟になります。そして信頼できる仲間をつくりながら、信じている道を進んでください。自分が『叶う』と信じていれば叶います」



「かつた!」と報告していただけること。クッキーを通して、たくさんの笑顔がつながっています。ただけることがうれしいです。また、飼い主さんからアドバイスをもらい、プラスアップしてからまたコミュニケーションがどれるときなども楽しいです」

——メソセージ

「ありがとうございます」

「まずは信じている道筋を言葉にすることで、自分への覚悟になります。そして信頼できる仲間をつくりながら、信じている道を進んでください。自分が『叶う』と信じていれば叶います」



18歳

アルバイト先のラーメン屋の大将から仕事への姿勢を学ぶ。

24歳

大学卒業後に就職した電力館で大きなプロジェクトを担当。逆境のかやりきり、成功体験を積む。

32歳

クッキー専門店kurimaroを設立。自分の工房をもち、販売を開始!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



打田 将太郎さん(1997年生まれ)

四日市西高校 出身
愛知学院大学 法学部卒業

四日市市消防本部

四日市市西新地14-4
<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/syoubou/index.php>

命を預かっている责任感とともに、命を救う仕事だという誇りを感じる。

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→公務員試験対策講座を受講→消防職員採用試験に合格→消防学校に入校→各消防署に配属

なるためには

【大学時代について教えてください】

「高校卒業後は、愛知学院大学法学部に進学。憲法を専攻しました。現在の活動も、すべて消防法にもとづいているので、法律の成り立ちなどを学べたことはよかったです」といいます。公務員試験対策は、大学が実施している講座を3年次から受講しました。講師が過去の傾向をもとに指導をしてくれたり、模試を受けて自分の弱点を対策してくれたりしたので心強かったです。現役の消防士の方が大学に来てくれて、面接対策もしていました」

【仕事について】

「消防職員採用試験に合格後、8ヶ月間、消防学校で基礎を学びます。最初は、ホースを伸ばして水を打つなどの消防活動訓練、救助機器の取り扱いなどを学びました。座学で学めに、血圧や体温の測り方、解剖学など救急の基礎知識を学びました」

【現在の仕事内容を教えてください】

「火災現場に駆けつけて火を消すの



も消防士の仕事ですが、火災警報器が付いているか、維持管理ができるかを確認して未然に火災を防ぐ予防活動も大切な仕事。あとは、救急、救助などの仕事を任せられています。火災が起きたときは、ボースを持って最前線で火元に水を打つ隊員として出動します。火災現場は急ぎ過ぎると事故につながるので、市民の方が安心できるよう声かけをしながら落ち着いて活動することを心がけています」

【救急の仕事とは?】

「路上にいるのか、家の中なのか、意識があるのかないのか相手の状態を指令で聞き、救急車に乗って現場に向かいます。『症状は変わっていないですか?』など、傷病者への声かけをして、観察しながら病院に運びます。人の命を預かっている責任感とともに、人の命を救う仕事だとう誇りを感じます」

【やりがい】

「市民の方、救急車で搬送した本人やご家族から、「ありがとうございます」と感謝されたときにはやりがいを感じます」

【その一言に尽きますね】

—学生時代

—なるためには

消防職員採用試験に合格する必要があるので、まずは学校の勉強を頑張ってください。大学の公務員試験対策はとても参考になるので、受けた方がいいですよ。私どもも助かりました。自力だと限界があるので、傾向と対策を熟知している講師から情報収集することも試験対策のひとつです。高校時代は最初に掲げた目標を最後まであきらめないでください。「これになりたい!」と思ったら思い続ける。そうすると、必ず自分がやるべきことがわかると思いますよ」



18歳

↓

22歳

↓

24歳

テニス部に所属し、部活漬けの高校生活を送る。キャブテンを務める。

愛知学院大学に進学し、法律について学ぶ。公務員試験対策講座を受講。

火災現場では、ホースを持って最前線で消火活動に取り組む。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

心がけているのは、笑顔を絶やさないこと。
笑顔は、どんな人も救える武器です。



なるためには

- 必要資格 / 介護福祉士
- 主な進路 / 福祉について学べる高校に進学し、介護の基礎を学ぶ→介護福祉士の資格を取得→高校卒業→福祉施設に就職→生活支援員として勤務

西口 陽菜さん (2000年生まれ)

朝明高校 出身

社会福祉法人よつば会

三重郡川越町亀崎新田21-11

<https://www.yotubanosato.com/>

朝明高校のふくし科に進学し、介護技術コンテストに出場して特別賞をいただいたことが思い出に残っています。この道をめざしたのは、小学生のときから。学校に障がいを抱えた生徒がいて、その子とふれあうなかで、いまの仕事に興味を持ちました。朝明高校に進学したのも介護福祉士の資格が高校で取れることを知ったからです」

【高校で学んだことは?】

「実習では、老人介護施設に行き、食事や入浴の介助などを経験させてもらいました。印象深かった出来事は、清拭をした利用者さんが次の日に亡くなっていたことです。昨日まで普通に私が接していた方が亡くなつたことにすごくショックを受けたことを覚えています。今まで死に直面する場面があまりなかったので、1日1日その人に合ったベストな支援をして悔いのない生き方をしてもらいたい、この思いは常に忘れないようにしています」

ー仕事についてー

【高校卒業後は『よつばの里』に就職しました。利用者さんがパニックになつたときにどう対処するべきかもわからなかつたので自分も一緒にバニックになつてしまつたり、最初は苦労することも多かったです。自閉症、ダウン症など、一人ひとりの障がいの種類も違いますし、自閉症の中でも重度、軽度あります。利用者さんのことをしっかりと理解し、意思疎通をすることが大切です。教

に亡くなつていていたことです。昨日まで普通に私が接していた方が亡くなつたことにすごくショックを受けたことを覚えています。今まで死に直面する場面があまりなかつたので、1日1日その人に合つたベストな支援をして悔いのない生き方をしてもらいたい、この思いは常に忘れないようにしています」

【高校卒業後は『よつばの里』に就職しました。利用者さんがパニックになつたときにどう対処するべきかもわからなかつたので自分も一緒にバニックになつてしまつたり、最初は苦労することも多かったです。自閉症、ダウン症など、一人ひとりの障がいの種類も違いますし、自閉症の中でも重度、軽度あります。利用者さんのことをしっかりと理解し、意思疎通をすることが大切です。教

意を理解してもらつたことがあります。常に心がけているのは、笑顔を絶やさないことです。笑顔は、どんな人も救える武器だと思います」

【利用者さんがよりよい生活を送れるようになります】

『よりよい生活』は人それぞれなので、一人ひとりとしっかりと向き合って、寄り添うことを心がけています。障がいの方々は、自由に出かけたり遊んだりすることが難しい状況にあります。私たちが利用者さんの生活をサポートしたり、できないことを支援したりすることで、達成感や充実感を得てもらえるよう日々の仕事に取り組んでいます

ーやりがいー

「私は『ありがとう』という言葉が大好きなので、利用者さんからその言葉をいたたくとすごくやりがいを感じます。感謝されたくてやつていいわけではありませんが、利用者さんは、自分のためになつていることを実感できます。常に心がけているのは、笑顔を絶やさないことです。笑顔は、ど



ー学生時代ー

ーメッセージー

「資格はなくともできますが、この業界をめざすなら資格をもつていてほしいが役立つ場面が多いと思います。私は高校時代に介護福祉士や普通救命などの資格を取得しました。高校時代は、夢をもつていてもいると思います。どんな人にも必ず未来に続く道があるので、いましかできないことに取り組んでください。まわりには家族や友達がいたり、みなさんは一人ではないので、夢を見つかつたらその夢に向かって全力で進んでもほしいです!」

ありがとうございました。



18歳
↓
19歳
↓
21歳

介護技術コンテストに出場し、特別賞を受賞。介護福祉士の資格を取得。

よつばの里に就職。先輩の姿を見ながら仕事を覚える。

常に笑顔を心がけ、利用者さんのよりよい生活を支援する。

卒業年



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



**携わった製品が世界に広がっていくこと。
それが自分なりの地域貢献。**

松澤 知宏さん(1987年生まれ)

菰野高校 出身

河村産業株式会社

四日市市西大鐘町330
<https://www.kawamura-s.co.jp/>

なるためには

●必要資格 / 特になし

●主な進路 / 高校卒業→絶縁加工・電子材料・微細加工などをおこなう企業に就職→経験を積みながら仕事を覚える→絶縁紙の製造を担当

— 学生時代 —

「子どものころから野球をずっとやっていた。高校でも野球漬けの毎日でした。厳しい部活だったので、礼儀や言葉づかい、上下関係などを学ぶことができました。チームワークやメンタル面も鍛えられたと思います。中でも思い出に残っているのは、2005年のときに甲子園に初出場したこと。大舞台でプレーをしたことで、人前に立つ度胸が身についたと思います。高校卒業後は、先生のすすめもあり、主に絶縁加工・電子材料・微細加工などをおこなう河村産業に就職しました。1個上の先輩が働いていたこともありますし、地元の企業を盛り上げたいという思いも強かったです」

— 仕事について —

「入社後に教わったことは、体調管理やほうれんそう(報告・連絡・相談)の大切さ。最初は、電子材料用の各種フィルムを精密スリット加工をする部署に配属されました。加工する機械の動かし方や安全に対する意識・危険予知についてなどを覚えていきます」

仕事内容を教えてください。

「現在は、ハイブリットカーボンエッカーナなどのモーター内で使用されている絶縁紙を製造しています。3つのフィルムを熱でプレスして1個の製品にするのですが、私が主に担当しているのは、当社が開発したオリジナル製品である『Namli(ナムリ)』です。独自のプラスマ表面処理、熱ラミネート技術によって接

— 今後のビジョンや目標は？ —

「もっとナムリが売れて世界に広がっていてほしいです。そして、いろんな車に使われてほしいです。その製品が地元三重で作られるというだけでも、河村産業の名前が広まりますし、雇用も生まれてくると思います。それが自分なりの地域貢献ですね」

— やりがい —

「自分が携わった製品が使われる車が走っている様子を見ると、やりがいを感じます。いまでは、自分の直属の後輩に、さらに後輩が付いています。直属の後輩がしっかりと指導している様子を見ると、私も教えたかいがあつたなあと思います。松澤さんのアドバイスが役に立ちました」という声もやりがいにつながっています」



— メッセージ —

「資格は特に必要ありません。専門知識がなくても大丈夫です。大切なのは、『元気』と『あいさつ』！ さえあれば、それ以外のことは会社に入つてから学ぶことができます。高校時代は、先生や友達と話をしたり、いろんな人と交流して、コミュニケーション能力を磨いておいてください。あとは、親や先生への感謝の気持ちをもつてほしいです。当時の私は、なんとも思っていませんでしたが、いまは成長させてもらつたまわりの人たちへの感謝の気持ちを忘れないようにしています！」

ありがとうございました。

18歳

甲子園に出場。大舞台を経験し、人前に立つ度胸を身につける。

19歳

河村産業に就職。製造機械の扱い方、加工について学ぶ。

33歳

河村産業が独自に開発した「Namli(ナムリ)」の製造に携わる。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





地域にある会社の成長や発展のために、人材の面でサポートする仕事。

小出愛海さん(1994年生まれ)
四日市南高校 出身
愛知淑徳大学 交流文化学部卒業

株式会社アドプランナー
四日市市大井手1-5-24(三重営業所)
<https://www.ap-net.co.jp/>

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、観光業について学ぶ→求人の広告代理店に就職→企画営業として勤務

「部活に入っていたので、授業後は教室に残ってみんなで勉強をしていました。勉強しながら、みんなでワイワイ楽しんだりした思い出が多いですね。学祭や体育祭などの学校行事にも力を入れていました。主になって企画をしたことが記憶に残っています」

大学で学んだことは?

「愛知淑徳大学の交流文化学部に進学しました。私が選択したのは、観光、ホテル、旅行などを学ぶコース。旅行代理店の仕事、まちおこしについて、キャビンアテンダントの所作やマナー、外国の文化などを学びました。大学時代に文化祭の実行委員を経験したことから、自分に合っていると思うようになりました。大学外部の人間と商談をしたり、企画の打ち合わせをしたりするなかで、企画や運営が自分に合っていると思うようになりました。最終的には営業職に絞って就活をし、採用のサポートなどをおこなうアドプランナーに就職しました」

ー仕事について

「最初は商品知識を覚えることがら。商品が幅広いので、社員同士でロープレをして提案の仕方などを学びました。難しかったのはコミュニケーションの部分で、私が一方的に話してしまうんです…。会話のキヤツチボールができるようになります。経験が必要でしたね。入社半年くらいは、先輩に同行してお客様を訪問したり、原稿を取りに行ったりして営業の流れを学びます」

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、観光業について学ぶ→求人の広告代理店に就職→企画営業として勤務

大学で学んだことは?

「愛知淑徳大学の交流文化学部に進学しました。私が選択したのは、観光、ホテル、旅行などを学ぶコース。旅行代理店の仕事、まちおこしについて、キャビンアテンダントの所作やマナー、外国の文化などを学びました。大学時代に文化祭の実行委員を経験したことから、自分に合っていると思うようになりました。大学外部の人間と商談をしたり、企画の打ち合わせをしたりするなかで、企画や運営が自分に合っていると思うようになりました。最終的には営業職に絞って就活をし、採用のサポートなどをおこなうアドプランナーに就職しました」

ー仕事について

「最初は商品知識を覚えることがら。商品が幅広いので、社員同士でロープレをして提案の仕方などを学びました。難しかったのはコミュニケーションの部分で、私が一方的に話してしまうんです…。会話のキヤツチボールができるようになります。経験が必要でしたね。入社半年くらいは、先輩に同行してお客様を訪問したり、原稿を取りに行ったりして営業の流れを学びます」



ー学生時代

ーメッセージ

「地元が好きで、「地元を盛り上げたい」「元気にしたい」という思いがある人に向いている仕事だと思いません。あとは人に興味をもてる人。普段の会話から、「なんでだろう?」といった観点で話ができるたら、お客様との会話も自然とできるようになると思います。本当に何もしていない学生時代を過ごすと、こんなことがやりたいという思いが見つかりにくいと思います。部活でも遊びでも何かに取り組んだ経験があると、自分が興味のあることに気づけるはずですよ」

ありがとうございました。

18歳 勉強や学校行事に取り組み、充実した高校生活を送る。

22歳 文化祭の実行委員を経験し、営業職を志す。アドプランナーに就職。

26歳 世の中の雇用を生み出す仕事。企業の発展のために人材面をサポート!



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





太田 結衣さん(1988年生まれ)

松阪工業高校出身
多摩美術大学彫刻学科卒業

一刀彫 結

度会郡玉城町矢野579-279
<https://ittobori-yui.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→女子美術大学短期大学部卒業→多摩美術大学卒業→伊勢一刀彫職人

——**学生時代**——
 「私がマネージャーとして所属していたバレーボルは強豪チームだったため、全国を遠征で回っていました。当時、バレーボルではマネージャーの募集はなかったのですが、顧問や先生に頼み込み、バレーボルに受け入れてもらうことができました。絶対に諦めない強い思いがされたことは、いまでも自分の中できかされていると思います」

大学で学んだことは?
 「多摩美術大学は、とてもゆったりとした空気が流れています。一人ひとりの作業場も広く、充実した設備があり、作品づくりに集中できる環境が整っているため進学を決めました。約半年もの時間をかけて自分が納得いく作品を作るのですが、自分の将来について向き合う時間もたくさんあり、有意義な大学生活を送ることができました。また、一緒に学ぶ学生のモチベーションが高く同じ環境に身を置くだけでも多くの刺激を受けたと思います」

——**仕事について**——

「主に干支などの木彫りのお守りを制作し、全国各地の神社に納品しています。そのほかに、お土産物をインターネットや百貨店などの催事で販売しています。木材の仕入れ、製材、削り、仕上げ、着彩から納品まですべての工程を一人でおこなっています。私は伊勢一刀彫職人としてまだまだ駆け出しながら、一人前になるにはすべての干支の制作

——**やりがい**——
 「幼いころからふれてきた、えと守った。約半年もの時間をかけて自分の将来について向き合う時間がたくさんあり、有意義な大学生活を送ることができました。また、一緒に学ぶ学生のモチベーションが高く同じ環境に身を置くだけでも多くの刺激を受けたと思います」

——**愛らしさ**——
 「愛らしい表情をしているね」とおしゃっていただいたときはとてもうれしいです。力では男性職人に劣る部分もありますが、女性ならではの繊細さや表情のつくり込みができるように心がけています」

——**メツセージ**——

「知人からの紹介で三重県の指定伝統工芸職人でもある師匠に出会い、弟子として受け入れていただきました。伝統工芸というと一点物のイ

——**愛らしさ**——
 「幼いころからふれてきた、えと守った。約半年もの時間をかけて自分の将来について向き合う時間がたくさんあり、有意義な大学生活を送ることができました。また、一緒に学ぶ学生のモチベーションが高く同じ環境に身を置くだけでも多くの刺激を受けたと思います」

——**愛らしさ**——
 「愛らしい表情をしているね」とおしゃっていただいたときはとてもうれしいです。力では男性職人に劣る部分もありますが、女性ならではの繊細さや表情のつくり込みができるように心がけています」

——**愛らしさ**——
 「愛らしい表情をしているね」とおしゃっていただいたときはとてもうれしいです。力では男性職人に劣る部分もありますが、女性ならではの繊細さや表情のつくり込みができるように心がけています」



18歳 バレーボルのマネージャーとして全国を遠征して回る。

22歳 多摩美術大学を卒業後、伊勢一刀彫の職人である師匠に弟子入り。

33歳 二児の母として、伊勢一刀彫職人として、女性ならではの感性で作品制作に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



「そこにあるだけで、
「ほっこり」できるような一刀彫を。」

そこにあるだけで、
「ほっこり」できるような一刀彫を。

メージがありますが、伊勢一刀彫は量産品の制作が中心です。そのため同じ作業を続けることも必要です。木を彫るといつても、突き詰めるほどに奥の深さを実感します。一刀ごとに木目を見極め、刀を入れる角度を考えながら、自分の思い描いたように刃を進めることができます。木を彫ることの本当の楽しさを感じることができます。高校時代は、周りの目や言葉を気にせず自分のやりたいことに自信をもって挑戦してほしいです。いまの自分がカッコイイと思えるような人になつてください!」

ありがとうございます! 『』